



優れたものづくり日本を活かす戦略と体制

令和5年度における活動実績・成果の概要

■ (概要) “ものづくり戦略人材の教育 (PBL教育)”

D5 グランドデザイン提案時(2017年)から7年目 (令和5年度) にあたり、「産官学民共創エコシステムの場形成プラットフォーム構築」を更に推進するため、JST-START事業 (下記) の本予算 (2年目) 及び新たに高校生等向け教育で獲得したJST-EDGE Prime Initiative事業を使って、本学及び東北地域6県+新潟県の国公立大学計10校からなる「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム」(MASP) 事業活動を大幅に発展させた。

本年度の活動は、8人の学外委員からなる『第1回外部評価委員会R6.2.27』で審議され、承認と改善点等の助言を頂いた。

■ 活動実績・成果 (概要)

① JST「大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」事業 (5年間) ^{1),2)}

令和4年度の採択を受け令和8年度まで、東北・新潟の10大学で形成したMASPプラットフォームの本事業2年目を推進。大学の技術成果・技術シーズを活用し、国内外の課題解決を図る大学発スタートアップの創出だけでなく、

(1) 起業を目指す教職員、大学院生に「みちのくGAPファンド」を配分した伴走型支援、(2) 誰もが受講できるアントレプレナー教育プログラムの開発・提供、(3) 起業環境の整備、(4) 東北・新潟のスタートアップ・エコシステムの形成・発展を推進。

② JST-EDGE Prime Initiative事業 **獲得³⁾** (小中高・高専生向け) **新規**

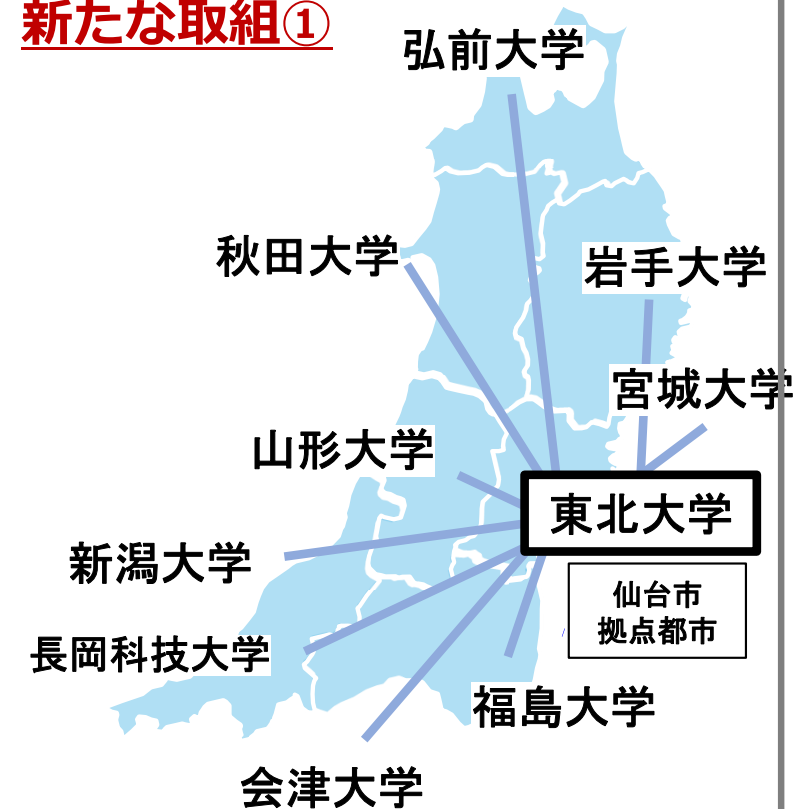
本事業 (令和4年度補正予算増額) を獲得 (令和5年3月29)。受講者層の裾野を小中高・高専生まで拡大。

③ (社) 三菱みらい育成財団助成事業「カテゴリー3 (先端・異能発掘・育成プログラム)」 (3年間) 令和4年度採択の2年目を**継続**

④ 大学発新産業創出基金 (ギャップファンド) **獲得⁴⁾** **新規**

向こう5年間のスタートアップ創出基金を獲得 (令和6年1月12日付) 東北大学は、MASP10校の主幹校として、前項①~④を推進している。新規

新たな取組①



関連ホームページ

- 1) [MASPウェブサイト](https://michinoku-academia-startup.jp/) <https://michinoku-academia-startup.jp/>
- 2) [JSTウェブサイト \(外部\)](https://www.jst.go.jp/pr/info/info1566/index.html) <https://www.jst.go.jp/pr/info/info1566/index.html>
- 3) https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/project2022_edge-prime_initiative.html
- 4) <https://www.jst.go.jp/pr/info/info1663/index.html>

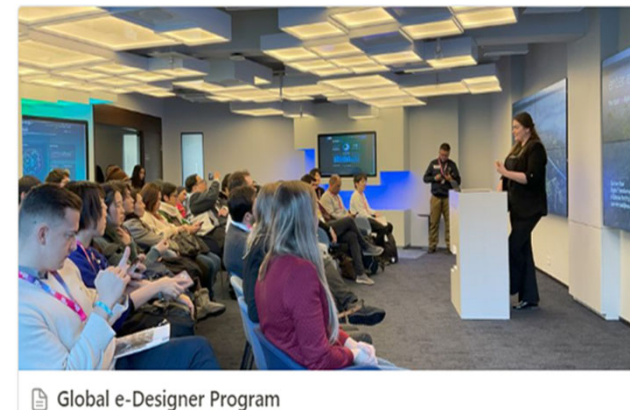


優れたものづくり日本を活かす戦略と体制

令和5年度における活動実績・成果の概要

① JST「大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」事業 (5年間) 2年目を継続
 (1) 起業を目指す教職員、大学院生に「みちのくGAPファンド」を配分した伴走型支援、(2) 誰もが受講できるアントレプレナー教育プログラムの開発・提供、(3) 起業環境の整備、(4) 東北・新潟のスタートアップ・エコシステムの形成・発展を推進。

Global e-Designer プログラムの雰囲気



■活動実績・成果 (概要)

① JST「大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」事業 (5年間)

◆アントレプレナー教育プログラムの受講者数について

R5年度の東北大学の受講者数は、

- ・ START事業で1,901名 (学部1,498名/院生81名含む) 、
- ・ それ以外の独自予算事業(三菱みらい財団も含む)で2853名、合計4,754名 (学部1,498名/院生81名含む) と拡大。右図は海外大学との共創教育プログラムを紹介。

② JST **EDGE Prime Initiative**事業獲得³⁾ (小中高・高専生向け) ; R4 年度補正予算増額 ; 1年間

東北大学が実施したEPI受講者数は、2,388名 (高校生1,795名、中学生159名、小学生364名を含む)

右図は小学生向けワークショップを紹介。

関連ホームページ

3) https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/project2022_edge-prime_initiative.html

実施期間・内容		PF 共通基盤 12												
プログラム	大学	対象	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
起業体験・デザイン思考ワークショップ	共通	小中高												

【プラットフォーム共有コンテンツ (東北大主導)】

起業体験ワークショップ ポイント

小中学校生対象 **全8回**

【開催日】 小学生向け (7回)
 2023年 7月23日 (日) (23名)
 2023年 9月24日 (日) (22名)
 2023年 12月10日 (日) 弘前大 (25名)
 12月17日 (土) 秋田大 (22名)
 2024年 1月21日 (日)
 2024年 2月12日 (月) , 2月23日 (金)

中学生向け (1回)
 2023年 11月26日 (日) (18名)

【内容】 生徒が、**仮想の会社を設立**する。商品企画から、事業計画作成、資金調達 (借入れ)、商品製造、販売、決算までの一連の**工程を体験**する。


【主催】 弘前大学, 秋田大学, 東北大学, 仙台市, INTILAQ, 東北イノベーションセンター, MASP

【後援】 仙台市・秋田市・弘前市の各教育委員会

【協力】 日本政策金融公庫・七十七銀行, 青森銀行, みちのく銀行, 秋田銀行

審査委員から高い評価

INTILAQ, 仙台市
弘前, 秋田, 仙台で8回実施





優れたものづくり日本を活かす戦略と体制

START事業に関連する活動、及び活動により得られた成果及び効果等について

■アントレプレナー教育プログラムの開発・提供により得られた成果等

JST-START事業の支援により、本学で行うアントレ教育プログラムを、右図のように、新たな形として、基礎固め、自立化、発展、エキスパート段階において、種々の授業やワークショップを準備する活動に深化させている。

基礎固めの学びとする専門スキル・知識・マインド等への詳細カリキュラムも別途準備した。

概要

基礎固め

自立化

発展

エキスパート

ライフデザイン

アントレ概論

アントレ演習

アントレ実習

アントレ実践

未来の
アントレ
育成
人材
GMASP
GAP
ファンド

[詳細はこちら ▶](#)

[詳細はこちら ▶](#)

[詳細はこちら ▶](#)

[詳細はこちら ▶](#)

[詳細はこちら ▶](#)

[詳細はこちら ▶](#)

専門スキル・知識・マインド

[詳細はこちら ▶](#)